

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第854回）
東京電力ホールディングス株式会社に関する指摘内容

令和2年3月27日
原子力規制庁
新基準適合性審査チーム

【説明スケジュール】

- 審査の透明性確保の観点から公開資料の提出は現場任せではなく、とりまとめ役が管理し遅延を防止すること。

【竜巻設計飛来物の感度解析】

特に無し

【ブローアウトパネル及び関連設備（コメント回答）】

特に無し

【地震荷重と風荷重の組合せについて】

- 平均的な風速（4.1m/s）による風荷重、積雪荷重及び地震荷重を組み合わせた場合の年超過確率が 10^{-6} に相当するとしているが、主荷重と副荷重の組合せにおける発生頻度と継続時間を考慮した考え方を踏まえ、積雪荷重の影響を受けない主排気筒について、地震荷重と組み合わせる必要のある風荷重を適切に設定すること。
- 風荷重と地震荷重とを組み合わせた場合でも、主排気筒の各部材の耐震性に問題がないことを説明すること。また、風荷重の影響が大きい主排気筒のような施設が他にもあれば、同様に説明すること。

以上